

與那原驛舎新聞

町民向けシミュレータ

初回無料デー実施予定

昨年12月より、館内に沖縄県鉄道シミュレータを設置しています。中城村のあしびつとワークス社が開発した運転シミュレータで、CGで復元した戦前の沖縄風景のなかで運転体験ができます。現在は、那覇く古波蔵、大里く与那原の2区間あり、上下線あわせ4コースが体験できます。通常は1プレイ(1コース)100円ですが、このたび町内向けに初回無料デーを実施いたします。なお、小学生以下は普段から1プレイ無料です。この機会に、ぜひご来館ください。

日時：6月13日(土)

10時～17時半

対象：与那原町在住

在勤・在学



7月に鉄道旅開催

「ニッチなことをする旅行会社」のスリージェイトラベル社(東京都)の企画する『沖縄鉄道旅』が7月12日(日)に開催されます。

沖縄の鉄道にスポットを当てた日帰りツアーです。当館での見学はもちろん、沖縄県鉄道の路線跡の一部を歩いたり、宜野湾市立博物館での台車の見学、そしてゆいレールの車両基地見学もあります。過去から現代、そして未来の鉄道まで、沖縄の鉄軌道について知る機会になると思えます。「沖縄鉄道旅」の詳細はスリージェイトラベル社のサイトをご確認ください。



駅舎文庫の充実

昨年の夏より設置していた駅舎文庫ですが、最近では冊数も増え、充実してきました。『図説沖縄の鉄道』や那覇駅跡の発掘調査報告書など沖縄県鉄道に関する本はもちろん、『鉄道の基礎知識』や『テツ語辞典』など鉄道関係の本が増えています。また、『与那原町史』など与那原町関係の本もありますので、ぜひご利用ください。



発行月の変更

これまで隔月で発行していた「与那原駅舎新聞」ですが、今年度は年4回(6月、9月、12月、3月)の発行予定です。ご了承ください。

駅舎コラム

広大な駅の空間

現在の資料館建物は、戦前の与那原駅の駅舎外観を復元したものです。「駅」というと、利用者が出入りする駅舎を思い浮かべる方が多いかもしれませんが、しかし実際の駅は、列車に乗り降りするためのホームを中心に複数の線路や設備を備えた広い空間です。線路は本線のほかに貨物を扱うための側線、車両を一時的に置く留置線、終着駅で機関車を

町民向け商品券配布中

町民向け「つなひきかちゃん商品券」の引換中です。開館日の10時から17時まで引換可能です。引換の方は引換ハガキと住所を確認できる身分証をお持ちください。引換および商品券の利用は7月末までですので、まだの方はお急ぎください。引換の際には、ぜひ資料館もご見学ください(町民無料)。

駐車場通路の封鎖

5月から平日も閉館後は駐車場を施設します。閉館時間帯、休館日は通り抜けもできませんので、ご了承ください。

与那原町立 軽便 与那原駅舎 展示資料館

戦前の沖縄にあった沖縄県鉄道(沖縄県営鉄道/軽便鉄道)。その与那原駅の駅舎を2014年度に復元しました。沖縄県鉄道の歴史や鉄道関係資料を展示する小さな鉄道資料館です。

開館時間 10:00 ▶ 18:00
休館日 火曜日、12/29-1/3
入館料 ¥100 (町外)

【入館料無料】町内在住・通勤通学/小学生以下/ゆいレールのフリー乗車券提示/「障害者手帳」をお持ちの方とその介助者/まち歩きガイドの一行/学習を目的とした団体の講師



公式サイト、SNS
<https://www.yonabaruekisha.com/>



列車の反対側へ付け替える機回し線などがありました。また、安全運行のため信号設備や車止めもありました。与那原駅も駅舎だけでなく、機回し線、貨物積卸場、燃料を保管するランプ小屋、トイレ、駅長の宿舎などがあり、東西に200メートル以上の敷地が広がっていました。駅舎だけでなく、こうした設備にも目を向けると、かつての駅の姿がより立体的に見えてきます。駅とは、意外にも広大な空間だったのです。(学芸員K)